
テンプレート / ロジック分離型WEBアプリケーションアーキテクチャ

いわゆるインターネット上のビジネスは、環境変化のサイクルが短いため、“QUICK START”は勿論のこと、「即断即決即実行」を実現する必要がある。
そのビジネスを行うためのシステム環境には以下のような性質が必要。

- ✓より高い生産性
- ✓より高い再利用性
- ✓より高いスケーラビリティ/ポータビリティ

特に、コンシューマ向けビジネスの場合は、顧客の関心をひいたり、購買意欲を高めるため、直感的ユーザインタフェースを頻繁に見直し、対応することが必要。

- ✓ビジュアルUIに対する、より高いメンテナビリティ
- ✓ビジュアルUIとビジネスロジックのリソース分離

アプリケーションをより短期で安全に構築し、高いメンテナビリティを保つためには「アーキテクチャ」の整備が不可欠。

アーキテクチャとは、

- ✓ハードウェアやベースソフトウェア等プラットフォームの複雑さを隠蔽し
- ✓アプリケーションの構築フレームワークを規定
- ✓アプリケーション構築を支援

するものである。

適切なアーキテクチャを提供することでJavaサーブレットは非常に高い生産性とメンテナビリティを実現可能。

		QUICK START	メンテナビリティ / 再利用性	開発環境	運用環境 / スケーラビリティ
ページ内記述 スクリプト型	MS ASP	いずれも、HTML中にスクリプトを記述する方法のため、比較的小規模であれば、容易に動的ページを構築可能。	ビジュアルなデザインとビジネスロジックが同一のリソース内に混在するため、高頻度なメンテナンスの際には担当者間の待ちがボトルネックになる可能性大。	開発ツールは専用のものに限定される。	Windows環境上の、IISに限定。
	Cold Fusion				専用のアプリケーションサーバ環境に限定。 。クラスタ対応可能。
	PHP3			様々なプラットフォームに対応している、	
	JSP			多くのJava開発ツールが対応。 。	様々なプラットフォームに対応した様々な製品の中から選択可能。クラスタ対応可能。 。
プログラム内 HTML出力型	CGI (Perl / C++ / C等)	ビジュアルなデザインを専門のデザイナーが短期間に直接行うためには何らかの仕組みを別途用意する必要がある。	言語仕様やプラットフォーム依存性により、再利用されないケースもある。	各プラットフォーム毎に用意された開発ツールを利用可能。	様々なプラットフォーム上で実行環境はあるものの、その間の移行は困難。
	Java Servlet				

	概 要	ビジュアルデザインとロジックの完全分離	ビジュアルデザイナーとプログラマの並行作業の容易さ
FreeMaker http://freemarker.sourceforge.net/	高度なループ制御系や条件分岐系のタグが用意されているが、それを使用しなければ、デザインとロジックの完全分離が可能。タグHTMLと同じ形式のタグを使用するため、HTMLエディタによっては、不正なタグとして表示されてしまう。		
Velocity http://jakarta.apache.org/velocity/index.html	テーブルの行の数を可変にするためには、専用の言語でテンプレート中にループ制御のコードを記述する必要があり、値のセットも見た目は異なるもののJSPと同様にテンプレート中でメソッド呼び出しが必要。	×	
WebMacro http://www.webmacro.org/	テンプレート中で使用するための専用のスクリプト言語が用意されている。ということから分かるように、HTMLの作成方法はJSPと大して変わらない。可変行数のテーブルなどを扱うためには、テンプレート中でループ制御する必要がある。	×	
Enhydra XMLC http://xmlc.enhydra.org/index.html	テンプレート中に記述するタグは、HTMLの文法に沿っているため、HTMLエディタとの相性の問題は起こりにくい。テンプレートから、データをセットするタグにアクセスするためのクラスを自動生成させるため、 まずデザイナーがテンプレートを作成する必要がある。 *1		×
EZServlet package http://www.ngmat.com/ja/product/	HTMLタグを生成するクラス軍が用意されているが、それを使用しなければ、デザインとロジックの完全分離が可能。HTML中に記述するタグは、HTML的にはただの文字列であり、HTMLエディタとの相性の問題は起こらない。テンプレート中にロジックを記述する方法がない。		

*1: アクセス用クラスを生成したあとにテンプレートを修正しても構わないため、作業順序を規定してしまうものではないことが判明。